

(様式) 府立松原高等学校 「学校協議会」 報告書 (第1回)

日 時	平成29年6月17日 (土) 14:00~17:00			
出席者	協議会委員	職名等	学校事務局	校務分掌等
	房 本 晃	社会福祉法人 バオバブ福祉会理事	島 岡 律 子	教頭
	菊 地 栄 治	早稲田大学教授	麦 田 伸 一	首席
	前 崎 卓	松原市立 松原第三中学校長	伊 藤 あ ゆ	首席
	山 口 百 合	本校PTA会長	山 口 裕 子	人権教育主担
			木 村 悠	人権教育主担
	教職員等			
	易 寿也 (大阪芸術大学)・林 茂樹 (摂南大学特任準教授) 岩崎 江津子 (1学年代表) 中川 泰輔 (1学年人担) 島田 隼人 (図視部代表) 眞杉 凌 (1学年) 井上 智賀 (1学年) 深井 恵介 (2学年代表) 佐藤 智美 (2学年人担) 三村 祐貴 (2学年) 加藤 綾 (2学年) 清水 信吾 (3学年代表) 松本 雅由 (3学年) 和田 克己 (3学年)			
おもな テーマ	1) 本年度「学校経営計画」「学校方針」 2) ワークショップ「ホームページのデザインを考える」 3) 協議会委員からの感想・提言			
協議内容 の概略	○本年度の「学校経営計画」の説明等 (校長) ○学校方針の説明と重点目標について (伊藤首席) ○給付型奨学金の開始について (山口教諭) ○課題早期発見フォローアップ事業について (岩崎教諭) ○授業改善の取り組みについて (深井教諭) ○各学年の取り組み (佐藤教諭、中川教諭) ○ワークショップ「ホームページのデザインを考える」 ○協議委員からのご意見、提言			
提 言 内 容・改善 方策	<ul style="list-style-type: none"> ・小中でできていない知識が高校で明らかになったとき、「高校でこれを得るために、この知識が要る」と考えてしまう。その授業にどのように子どもが参加したか、参加してよかったと思うことを大切に。 ・知識蓄積型から生き方創造型へ、という総合学科のスローガンがあった。受験を取り払ったら、何を教えているのか、という問いを。 ・ルーブリックが授業をつくる軸になる。中学校でも、授業の始めに「今日のねらい」を生徒に示そうとしている。 ・自分が教えることにどんな意味があるのか、という問いを。ともすると、ルーブリックは一次元の評価軸となることが懸念。理論的な整理を。 ・松高版子ども食堂がたいへん興味深い。始まりから記録に残して。 			